



一関地区安全パトロール実施



あいぽーと

岩手河川国道事務所 職員より講話

令和元年6月24日(月)に、「一関地区安全パトロール」が、発注者・施工業者で行われました。午前中は、岩手河川国道事務所 職員より「令和元年度 東北地方整備局 事故防止重点対策」についての講話、午後からは、現場へ行き点検表に基づきパトロールを実施しました。その後、あいぽーとで改善点や良好点などの討議、意見交換を行い、事故防止対策の意識を高めました。

一関遊水地舞川水門新設工事



工事概要の説明



現場内点検



討議の様子

一関遊水地の水門の役割について

水門の役割について紹介するよ!

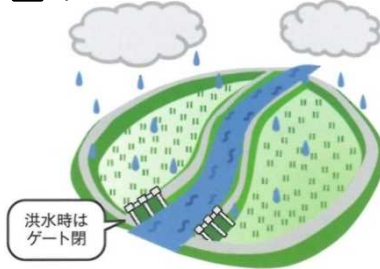


図1では、中小洪水時に小堤と水門ゲートが連続することで遊水地内に洪水が浸水することを防ぎ水田等を守ります。

図2では、大洪水時に遊水地内に溜まった水を北上川の水位低下と連動してゲートを開き溜まった水を速やかに排水します。

水門は、大林水門、長島水門が建設中であり、今後舞川水門の建設が予定されています。

図1



小堤とゲートが一体になる

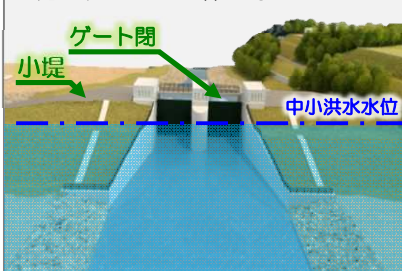
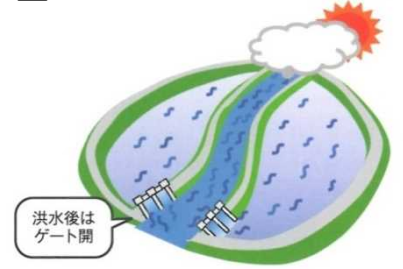
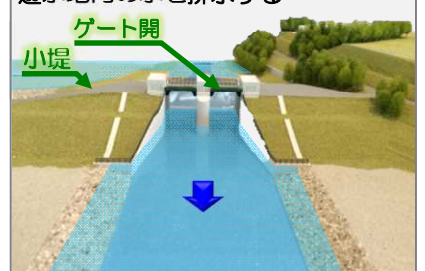


図2



遊水地内の水を排水する



◆景観に配慮したデザインで統一◆
 一関遊水地内に設置される3水門のうち、第2遊水地長島水門が平泉町の風土景観地区に設置されます。このため対象地区外となる2水門も含め、遊水地全体で統一した景観を考慮した設計としています。

編集後記

舞川水門は、一関遊水地のうち第3遊水地の水門になります。大林水門、長島水門について一関遊水地を代表する河川施設になるのではないのでしょうか。(Y)